

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	大学病院における認知症ケアチームの新型コロナウイルス感染症の流行を含む期間における患者動態の分析		
1. 研究の目的と方法	本研究の目的は、東京慈恵会医科大学附属病院の認知症ケアチームが介入した症例の性別、年齢、入院に至る主病、服薬状況、生活状況といった患者背景や、認知症ケアチームの院内におけるニーズの実態を明らかにすることです。認知症ケアチームが介入した患者さんの入院時の上記情報を分析し、特に新型コロナウイルス感染症の流行前後で患者背景に違いがあるのかを考察します。また、全体の傾向からケアチームの役割及び今後の課題を見出します。 本研究の方法として、2018年1月から2023年3月までの間に依頼のあった症例570名を対象として、本院の電子カルテに入力された介入状況・介入却下の理由・入院から介入開始までの日数・介入開始から終了までの日数・患者属性・認知症診断・入院区分・主科・入院中の向精神薬使用の有無・せん妄誘引薬剤使用の有無・退院先の11項目に関する分析と、2020年4月を境とした新型コロナウイルス感染症の流行前後でのデータの比較を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2018年1月から2023年3月までの間に東京慈恵会医科大学附属病院のいずれかの診療科（主科）を受診した患者のうち、認知症ケアチームへの介入依頼があった入院患者様を対象とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	介入状況・介入却下の理由・入院から介入開始までの日数・介入開始から終了までの日数・患者属性・認知症診断・入院区分・主科・入院中の向精神薬使用の有無・せん妄誘引薬剤使用の有無・退院先	
	(4) 情報の取得の方法	診療録からデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 精神医学講座
		氏名	教授 品川俊一郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 精神医学講座 助教 高崎恵美		

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025年8月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 精神医学講座 研究責任者：教授 品川 俊一郎（しながわ しゅんいちろう） 窓口担当者：助教 高崎 恵美（たかさき えみ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3301） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。